



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月7日  
東

上場会社名 西川ゴム工業株式会社 上場取引所  
 コード番号 5161 URL <http://www.nishikawa-rbr.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)福岡 美朝  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)休石 佳司 (TEL) (082)237-9371  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	72,331	△2.1	5,427	△6.4	5,933	△9.1	3,733	△8.3
2019年3月期第3四半期	73,846	3.6	5,797	△2.1	6,530	△7.7	4,072	346.7

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 2,263百万円 (—%) 2019年3月期第3四半期 △2,349百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	190.72	—
2019年3月期第3四半期	208.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	108,977	69,556	59.3
2019年3月期	110,591	68,293	57.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 64,670百万円 2019年3月期 63,876百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	20.00	—	22.00	42.00
2020年3月期	—	20.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	97,500	△1.0	7,250	△6.1	7,850	△7.3	4,800	△2.3	245.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	19,995,387株	2019年3月期	19,995,387株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	416,955株	2019年3月期	416,955株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	19,578,432株	2019年3月期3Q	19,578,546株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（日付の表示方法の変更）

「2020年3月期第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米中貿易摩擦の解消への期待が高まったものの、米国とイランの対立が深まるなどの地政学リスクが更に高まり、依然として先行きが不透明な状況が続いております。わが国経済も、不確実性の高まりが企業の投資マインドを下押しし、成長が鈍化しております。

自動車業界におきましては、国内自動車生産台数は減少傾向に推移したほか、海外自動車生産台数においても、北米、中国、欧州などで減少したことにより、世界の自動車生産台数は前年同期比で減少しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は72,331百万円（前年同期比2.1%減）となりました。利益につきましては、営業利益は5,427百万円（前年同期比6.4%減）、経常利益は5,933百万円（前年同期比9.1%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,733百万円（前年同期比8.3%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (日本)

自動車生産台数が前年同期に比べ減少したことにより、売上高は40,307百万円（前年同期比1.9%減）となり、営業利益は2,455百万円（前年同期比9.7%減）となりました。

#### (北米)

米国およびメキシコでの自動車生産台数は堅調に推移したものの、当社の受注車種の生産台数が減少したこと、および為替の影響などにより、売上高は19,593百万円（前年同期比6.5%減）となり、営業利益は34百万円（前年同期比92.3%減）となりました。

#### (東アジア)

中国での当社の受注車種の生産台数が好調に推移したものの、為替の影響により、売上高は9,298百万円（前年同期比1.1%減）となりました。利益につきましては、合理化活動により、営業利益は653百万円（前年同期比22.1%増）となりました。

#### (東南アジア)

ASEAN地域において自動車生産台数が堅調に推移したことにより、売上高は8,632百万円（前年同期比7.4%増）となり、営業利益は2,415百万円（前年同期比14.0%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,614百万円減少し108,977百万円となりました。主な減少は売掛金および投資有価証券などであり、負債は、前連結会計年度末に比べ2,876百万円減少し39,421百万円となりました。主な減少は長期未払金などであり、また、純資産は前連結会計年度末に比べ1,262百万円増加し69,556百万円となりました。主な増加は利益剰余金などであり、

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、最新の経済状況を踏まえ修正しております。詳細は、本日公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	27,973	29,094
受取手形及び売掛金	16,079	14,071
電子記録債権	2,463	2,454
有価証券	500	500
製品	2,763	2,451
仕掛品	827	843
原材料及び貯蔵品	1,909	1,958
未収還付法人税等	75	188
その他	2,267	1,688
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	54,855	53,247
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,949	8,923
機械装置及び運搬具（純額）	11,614	10,998
その他（純額）	9,968	12,190
有形固定資産合計	30,531	32,112
無形固定資産		
その他	969	903
無形固定資産合計	969	903
投資その他の資産		
投資有価証券	23,318	21,566
繰延税金資産	521	468
その他	398	682
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	24,235	22,714
固定資産合計	55,736	55,730
資産合計	110,591	108,977

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,741	9,294
短期借入金	4,757	4,802
未払法人税等	512	269
賞与引当金	1,135	550
製品保証引当金	46	25
訴訟損失引当金	475	-
未払金	4,015	4,004
その他	4,695	4,820
流動負債合計	25,379	23,768
固定負債		
長期借入金	7,002	7,615
繰延税金負債	4,593	4,643
退職給付に係る負債	700	577
役員退職慰労引当金	41	28
長期末払金	4,132	2,183
資産除去債務	360	365
その他	86	239
固定負債合計	16,918	15,653
負債合計	42,298	39,421
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,364	3,364
資本剰余金	3,527	3,527
利益剰余金	45,839	48,751
自己株式	△424	△424
株主資本合計	52,308	55,219
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,221	9,937
為替換算調整勘定	1,567	593
退職給付に係る調整累計額	△1,221	△1,080
その他の包括利益累計額合計	11,567	9,450
非支配株主持分	4,417	4,886
純資産合計	68,293	69,556
負債純資産合計	110,591	108,977

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	73,846	72,331
売上原価	58,845	58,070
売上総利益	15,000	14,260
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	3,177	3,187
給料及び手当	2,226	2,217
退職給付費用	52	51
その他	3,747	3,378
販売費及び一般管理費合計	9,203	8,833
営業利益	5,797	5,427
営業外収益		
受取利息	107	113
受取配当金	593	611
持分法による投資利益	58	91
その他	222	236
営業外収益合計	981	1,051
営業外費用		
支払利息	86	123
固定資産除却損	34	80
為替差損	44	24
外国付加価値税等	-	267
その他	83	49
営業外費用合計	248	544
経常利益	6,530	5,933
特別利益		
受取保険金	47	-
特別利益合計	47	-
特別損失		
訴訟損失引当金繰入額	468	-
固定資産除却損	8	4
投資有価証券売却損	-	0
災害による損失	68	-
特別損失合計	545	5
税金等調整前四半期純利益	6,032	5,928
法人税、住民税及び事業税	940	874
法人税等調整額	419	595
法人税等合計	1,359	1,469
四半期純利益	4,673	4,458
非支配株主に帰属する四半期純利益	600	724
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,072	3,733

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	4,673	4,458
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,837	△1,284
為替換算調整勘定	△303	△1,017
退職給付に係る調整額	144	141
持分法適用会社に対する持分相当額	△25	△33
その他の包括利益合計	△7,022	△2,195
四半期包括利益	△2,349	2,263
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,974	1,616
非支配株主に係る四半期包括利益	624	646



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社は、当第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することといたしました。IFRS第16号の適用にあたっては、経過措置としてみとめられている、本基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の有形固定資産の「その他(純額)」が494百万円増加し、無形固定資産の「その他」が119百万円減少しております。また、流動負債の「その他」が179百万円増加し、固定負債の「その他」が193百万円増加しております。当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。